

環境活動レポート

2013年度



小布施橋付近から西にそびえる北信五岳方面の風景

2014年 10月 1日

カイシン エレクトロニクス 株式会社

ごあいさつ

カイシンエレクトロニクス(株)は親会社カイシン工業(株)を中心としたカイシングループに所属しています。長野の北、善光寺平に位置し、東に志賀高原、西に北信五岳を臨む、恵まれた環境の中で「ものづくり」に邁進しております。

カイシングループは1974年創業以来「お客様第一」を掲げて、急速に変化するニーズに答え「アイデアを実現」のため、海外工場と共に“無限の可能性”に挑戦し続けております。

“出会いを大切に日々改め進む”という社名の由来より人間尊重を旗印に弾力性のある、若さ溢れる、はつらつとした会社を目指しております。

経営理念

カイシングループは、板金加工で培った永年の経験と設計・開発並びに精密加工・組立技術を糧に無限の可能性に挑戦し、お客様の「アイデアを実現」する提案型企業を目指します。



- 1.ものづくりで社会に貢献いたします。
- 2.地球環境に配慮した省エネ/長寿命製品を提供します。
- 3.人を大切にし、地域社会に貢献する企業を目指します。

1. 事業の概要

(1) 組織名及び代表者名

カイシンエレクトロニクス株式会社 代表取締役 堀 豊

(2) 事業所及び所在地

本社工場（アセンブリ事業部） 〒381-0008 長野市大字下駒沢字五反田 793-1

松川工場（PLP 事業部） 〒382-0071 須坂市大字小河原字松川 3954-33

豊野工場（PC 事業部） 〒389-1104 長野市豊野町浅野 1834-2



本社工場（長野市北部工業団地）の付近図

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 丸山 光昭
 担当者連絡先 (エコアクション事務局長) 棚橋 勝美
 (エコアクション事務局) 北條 正一
 電話 026-295-0666 FAX 026-295-0674
 E-mail : soumu-kec@kaisin-g.jp
 URL : <http://kaisin-g.com/>

(4) 事業の内容

電子機械部品の製造、組立（電子部品加工・検査、プリント基板加工、筐体製品の組立・配線・検査・試験）

(5) 事業の規模

① 売上高（2013年度） 904 百万円
 ② 建物総面積 本社工場 5,613 m² 松川工場 3,691 m²
 豊野工場 2,941 m²
 ③ 従業員数 98 名

2. 認証・登録範囲、環境レポートの対象期間及び発行日

- (1) 認証・登録範囲 電子機械部品の製造、組立（電子部品加工・検査、プリント基板加工、筐体製品の組立・配線・検査・試験）
- (2) レポート対象期間 平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日
- (3) レポート発行日 平成 26 年 10 月 1 日

3. 環境方針

環境方針

当社は、長野県の北部地区に位置し、周りを山々に囲まれた自然環境にあります。美しく豊かな自然を子供たちの世代に引き継ぐため「人と環境が調和した未来に貢献する」を基本理念として、あらゆる生産活動において環境の保全及び向上に努め、地域から地球規模に至る地球環境に配慮して行動します。

1. エコアクション 21 に準拠した環境マネジメントシステムにより、環境マネジメントを推進するとともに継続的な改善を図ります。
2. 当社の活動、製品、サービスに関わる環境側面に留意し、原材料・部材の調達から生産、物流に至る事業活動によって発生する環境負荷を低減するよう、消費エネルギーの削減、廃棄物削減、有害化学物質削減、生物多様性の保全と持続可能な自然共生社会の実現に向けた視点にたった環境保全活動を推進します。
3. 環境に関する法規制及びその他の同意する要求事項を順守し、地域社会との調和に努めます。
4. 日常業務や社内外教育などを通じて環境保全に対する社員の理解と意識の向上を図ります。

2011 年 6 月 1 日

カイシンエレクトロニクス株式会社
代表取締役 堀 豊

4. 環境目標

[中期目標設定にあたり、2011年度実績を基準値として設定。]

中長期目標	2012年度	2013年度	2014年度※2
CO ₂ 排出量の削減	2011年度実績の0.3%削減する。	2011年度実績の0.6%削減する。	2013年度実績の0.3%削減する。(原単位)
水道水排水量の削減	2011年度実績の0.3%削減する。	2011年度実績の0.6%削減する。	2013年度実績の0.3%削減する。(原単位)
産業廃棄物排出量の削減	2011年度実績の0.3%削減する。	2011年度実績の0.6%削減する。	2013年度実績の0.3%削減する。(原単位)
環境美化の推進	年2回工場周辺の清掃実施。	年2回工場周辺の清掃実施。	年2回工場周辺の清掃実施。
品質向上 ※1		各工場別に品質目標を立て活動。	各工場別に品質目標を立て活動。
グリーン購入の推進	他社・自社取組状況を把握する。	他社・自社取組状況を把握する。	他社・自社取組状況を把握する

※1. 品質向上は2013年度から新規活動として取組開始

※2. 中長期目標の再設定、2013年度を基準として原単位(売上高百万円当り)での設定目標とします。(CO₂、水道水、産業廃棄物の3項目)

5. 環境目標と実績

項目	年度		2013年度		判定 単年度
	2011年度 実績	2012年度 実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)の削減※1	1,053.9	1,252.2	1,047.6	1,407.6	×
電力使用量(kwh)	1,963,485	2,334,402	2,263,470	2,702,059	×
水道水使用量(m ³)の 削減	1,576	1,571	1,566.5	1,726	×
産業廃棄物排出量(m ³) の削減※2		611.7	611.7	576.7	○
環境美化ボランティア の推進	—	—	各工場 年2回	年2回 実施	○
品質向上			次頁(1)	次頁(1)	×
グリーン購入の推進	—	29品目 122点	状況 把握	49品目 113点	○

※1 二酸化炭素排出量における電力の換算係数は中部電力(株)0.000518 t-CO₂/kwhを使用

※2 産業廃棄物排出量の削減について重量から容量とし目標設定を前年度維持に変更

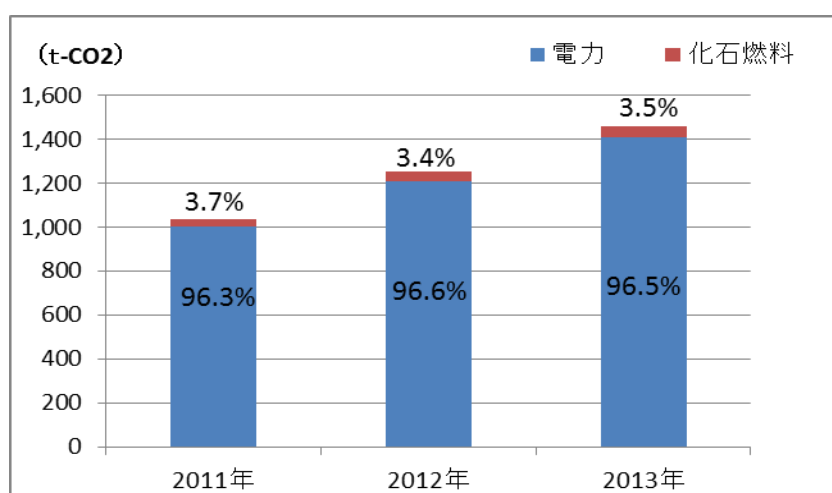
(1) 品質向上

工場 \ 項目	2013年度目標	結果	判定
本社工場	不良件数 0件	5件(年)	×
松川工場	求償金額 88,000円(年)	126,815円(年)	×
豊野工場	直行率 95%以上	96.5%(平均)	○

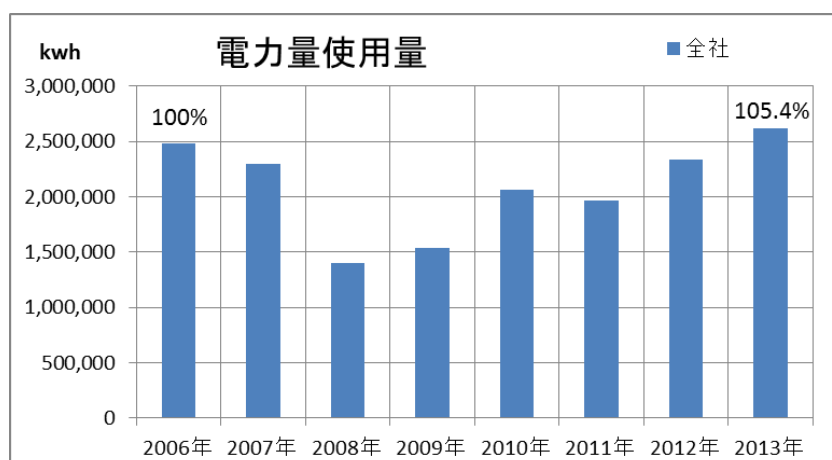
6. 環境活動内容と評価

(1) CO2 排出量の削減対策

2011年～2013年CO2排出量推移（電力及び化石燃料）



2013年のCO2排出量は電力使用量が全体の96.5%、化石燃料は3.5%を占めている。



電力使用量はリーマンショック前と比較して売上の回復と共に2006年度比105%と増加。

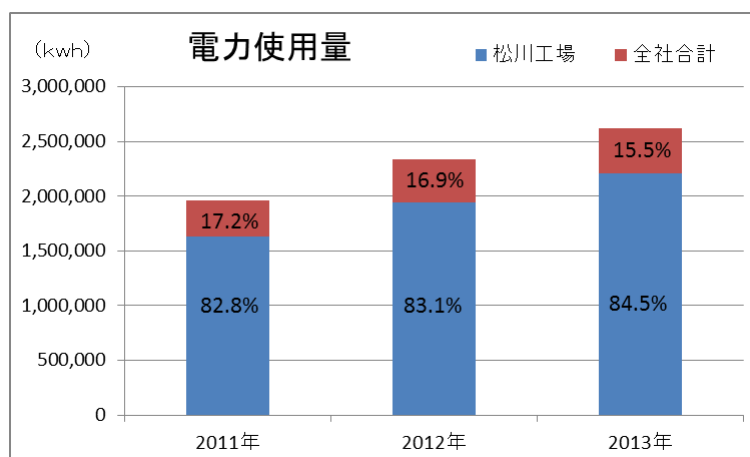
2010年度松川工場では電力使用量が多大なコンプレッサーをインバーター付き省エネタイプに入替。

2011年創業した豊野工場は電力量削減活動の一環として空調用にGHP（ガスヒートポンプエアコン）導入を行った。

2013年度も上記の他に以下を実施した。

- ・ 継続 電力使用量の削減（休日、夜間、不要時の設備機器電源 OFF、事務所や現場に人が不在時消灯）
- ・ 新規 水銀灯を LDE 化及び省エネタイプの検討
- ・ 新規 エアコンの間引き稼働を行い電力量削減の検討
- ・ 継続 化石燃料の削減（タイヤの空気圧点検の実施）

豊野工場：倉庫の水銀灯を LED タイプに入替えた。（2014年5月）
他工場の LED タイプ入替も引き続き検討



松川工場：全体の電力使用量の80%超である。品質を保つ為、設備・空調を生産活動に関係なく24H電力消費している。生産量が増加した事で設備の稼働率が上がり、電力量が更に増加した。この事からCO2排出量も多かった。

各工場削減に向け活動を行ったが目標は未達成となる。松川工場は上記の通り、即座に現行の目標をクリアするのは、難しい為、2014年度から2013年度を基準とし原単位での目標設定をして活動をしていきます。（水道水排出量及び廃棄物排出量も同様）

(2) 水道水（排水量）削減対策

- ・ 継続 トイレ節水対策（擬音装置）
- ・ 継続 漏水点検の実施（年3回）

本社工場：2013年度は漏水もなく、大幅に減少。（前年対比 57%）2014年度に向け、2013年度が基準値として削減に努める。

松川工場：全社の 60%を占めており、3割以上は空調湿度管理用の供給水である為、低減対策として湿度管理の緩和を検討中。

（3） 廃棄物削減対策

- ・継続 分別管理の徹底とコンビニ弁当空容器の持ち帰り
- ・新規 廃棄物の有価物化としてリサイクル目的の処理業者に委託

（4） 環境美化ボランティア

- ・継続 従業員全員参加を目標に実施

【環境美化ボランティアの一環として工場周辺の清掃活動】



豊野工場周辺のゴミ拾い



松川工場南側松林内清掃

（5） 品質向上

- ・今年度から品質向上活動を環境目標にとり入れた。
- ・事業部単位の取り組みを行い、不良を低減することから廃棄物の低減や労働時間短縮等での電力量削減効果を期待したが評価が難しい為、観点を変えるなり 2014年度以降再考の余地があり検討します。

（6） グリーン購入の推進

- ・継続 事務用品購入が主であるが必要な物をエコ商品、環境に配慮した製品に変更していく。
- ・総務中心となり、今年度 49 品目 113 点を購入した。

(7) 2014 年度取組

・有害化学物質の削減に関して、弊社は化学物質使用量の管理のみとする。

2014 年度は使用部材の含有化学物質の調査を項目に取り入れ現状把握を図る。

7. 環境法令の遵守状況確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境法令の遵守状況を確認しました。適用となる環境関連法規 別紙1の通り

- ① 当社に適用される環境関連法令を調査し環境法規制等管理規定としてまとめ、当社が遵守すべき規制事項の点検の結果、違反となる項目、行為はありません。
- ② 騒音に関しては自主確認であります但し本社工場、松川工場で騒音測定を実施して、昼間：70 デシベル、夜間：65 デシベル以下であることも確認しました。

(2) 今年度の違反、寄せられた苦情、訴訟等の有無

- ① 関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情は、一件もありませんでした。

8. 代表者による全体の見直しと評価

エコアクション21の活動は、事業活動と環境との直接的な関わりが深いことを従業員1人1人が更に強い意識を持っていかなければならない。また次世代に繋げる重要なツールであり、更に継続的な取り組みが必要である。

環境保全活動に関してグループ会社では積極的に行い、周辺の企業のお手本となるような評価をうけつつある。大きな規模で行う協力会社の活動にも当社から大勢の人が協力できる様にしてほしい。

別紙1 当社に適用される環境関連法令

(「○」は適用(将来適用の可能性を含む。))「△」は適用(特定排出者・届出等の法規制)されないが、把握・管理をする。「-」は適用されない)

法令等の名称		工場		
		本社	豊野	松川
法令	環境基本法	○	○	○
	循環型社会形成推進基本法	○	○	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	○	○	○
	騒音規制法	○	-	○
	振動規制法	○	-	○
	下水道法	○	○	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律	○	○	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律	○	○	○
	特定家庭用機器再商品化法	○	○	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○	○	○
	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	○	○	○
	特定物質の規制によるオゾン層の保護に関する法律	○	○	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	○	○
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	○	○	○
	労働安全衛生法	○	○	○
	消防法	○	○	○
	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	△	△	△
	エネルギーの使用の合理化に関する法律	○	○	○
	電気事業法 電気関係報告規則	○	-	-
	長野市環境基本条例	○	○	-
	長野市公害防止条例	○	○	-
	長野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	○	-
	長野市下水道条例	○	○	-
	長野市建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行細則	○	○	-
	須坂市環境基本条例	-	-	○
	須坂市公害防止条例	-	-	○
	須坂市廃棄物の処理及び再利用等に関する条例	-	-	○
須坂市下水道条例	-	-	○	
長野県地球温暖化対策条例	○	○	○	
(長野県)廃棄物の適正な処理の確保に関する条例	-	-	○	
その他の規制	協定等のその他の規制はない。	-	-	-